

クラス	303	担当教員	工藤 英美
テーマ	子どもの発達を保障する「インクルーシブ保育」の研究		
著書・論文	【論文】金仙玉・工藤英美・山本理絵. 韓国のインクルーシブ教育・保育の動向-- 『2019改訂より課程運営支援資料』 から、人間発達学研究, (13)、pp.61-72、2022年.		
研究課題等	保育者のインクルーシブ保育に対する認識保育者の意識調査の傾向より 愛知県立大学生涯発達研究所 生涯発達研究 10,95-100頁 (共著) .2018.		
	幼児における多義図形認知の発達:図形の解体と再構成の経験が自発的反転に与える効果 発達心理学研究 28(2),74-83頁 (単著) .2017.		
	【研究課題】 幼児期の表象発達、インクルーシブ保育		
ゼミナール概要			
キーワード：乳幼児の発達、発達保障、インクルーシブ保育、障害理解			
目的、内容、方法、授業計画等：			
<p>目的：</p> <p>本ゼミでは、子どもの発達について深く理解し、<u>全ての子どもの発達が保障される「インクルーシブ保育」</u>について研究していくことが目的です。また、卒業論文を書き上げる上で必要なスキル（学術論文を読む、ディスカッションやプレゼン、論文を書くなど）の習得と向上を目的とします。</p> <p>そのために、以下の学習目標を掲げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①乳幼児期の発達過程や、発達と発達つながりに関する知識を身につける。 ②障害がある子どもの発達に関する知識を身につける。 ③学術論文を読めるようになる。 ④自分の疑問、興味、関心を整理し、卒業論文執筆のための研究計画を立案できる。 			
<p>内容：</p> <p>子どもの発達を保障する「インクルーシブ保育」とは、具体的にどのような保育でしょうか。本ゼミでは、自明と思われていることを改めて問い直し、子どもの発達を保障する「インクルーシブ保育」の具体化について考えていきたいと思えます。そのためには、まず定型発達児や障害がある子どもの発達過程に関する知識をインプットし、それらを地域の保育所・発達支援センターでアウトプットします。具体的には、障害の有無に関わらず子どもが楽しめる活動を計画し、地域の保育所で実践しながら、子どもの発達を保障するインクルーシブ保育について考えていきます。</p>			
<p>授業計画等：</p> <p><u>3年次は</u>、子どもの発達に関する先行研究、「子ども」にかかわる幅広いテーマの文献を講読し、自分の興味、関心がどこにあるのかを見つけます。また、先行研究から卒業研究につながるような「問い」を設定し、卒業論文のテーマを絞っていきます。さらに、文献講読を通して、論文の読み方やまとめ方、また、プレゼンやディスカッション等の卒業研究に必要なスキルを身につけます。そのほかに、月1回程度、地域の保育所に出かけ、障害がある子どもと障害がない子どもとが楽しく遊べる活動を計画し、実践します。</p> <p><u>4年次では</u>、各自のテーマに沿って卒業研究を進め、卒業論文を完成させます。引き続き、4年次でも地域の保育所で障害がある子どももいない子どもと一緒に遊ぶことができる活動を考え実践していきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>子どもの「発達」に興味、関心がある人、子どもの行動を不思議だと思う人、特に歓迎します。</p> <p>ゼミでは教員からの教授ではなく、自分で「問い」を見つけ、調べ、探究していきましょう。そして、自分の考えをゼミの仲間に聞いてもらい、また、仲間の発表も聞き、意見交換をしましょう。必要であれば、自分たちで活動の場を開拓していくといいと思います。</p> <p>それから、卒論を完成させるためには、共に学ぶ仲間の存在が大切だと思います。ゼミの仲間がそんな仲間になれるといいと思います。</p>			